

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の(1)～(5)に答えなさい。

地図

- (1) 右の地図を見て、日本と同じ緯度にあるヨーロッパ州の国の組み合わせとして適切なものを、下のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

ア スペイン、バチカン市国、マケドニア、マルタ
イ ブルガリア、イギリス、イタリア、ベルギー
ウ ギリシャ、ポーランド、オランダ、デンマーク
エ ポルトガル、ブルガリア、アルバニア、エストニア

- (2) 右の地図中のAの沿岸の国々で行われている、夏は高温で乾燥し、冬は温暖で雨が多い気候を生かした農業を何というか、書きなさい。
- (3) 次の文は、ヨーロッパの工業について述べたものである。①、②に最も適する語句を書きなさい。

ヨーロッパでは、18世紀の後半から世界に先がけて鉄鋼業や機械工業が発達した(①)をはじめ、フランス、ドイツなどで近代工業が発達した。近代工業とは、産業革命以降に発達した工業であり、鉄鋼、アルミニウムなどの生産を行う(②)工業、肥料や薬品などを作る化学工業などの重化学工業と、衣服を作るせんい工業、陶磁器やガラスなどを生産する窯業などの軽工業とに分類される。

- (4) 右の資料を見て、1980年と2013年を比較したとき、機械類の輸出額は約何倍に増加しているか、小数第一位を四捨五入して整数で書きなさい。

資料

- (5) 統計資料を活用して、生徒に円グラフを作成させる際の留意点を2つ書きなさい。

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

2 次の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 次の文は、北海道地方について述べたものである。①～③に最も適する数字の組み合わせを、下のア～クから1つ選び、その記号を書きなさい。

北海道の面積は四国の4倍以上あり、日本の総面積の約(①)割をしめている。また、内陸部の旭川市では、日本の最低気温であるマイナス(②)℃を記録するなど、冬の寒さが厳しい。政令指定都市の札幌市への人口集中が著しく、北海道の人口の約(③)分の1以上をしめている。

ア	① 2	② 5 1	③ 2	イ	① 4	② 5 1	③ 2
ウ	① 2	② 4 1	③ 2	エ	① 4	② 4 1	③ 2
オ	① 2	② 5 1	③ 3	カ	① 4	② 5 1	③ 3
キ	① 2	② 4 1	③ 3	ク	① 4	② 4 1	③ 3

(2) 次の文は、北海道において冬の寒さに対応するための工夫について述べたものである。①、②に最も適する語句を書きなさい。

北海道では、冬の寒さを和らげるために、家の(①)を二重にしたり、断熱性の高い壁を用いたりするような家の造りが一般的である。また、雪が多く降る地域では、道路の中に電熱線や温水パイプを入れ、その熱で雪を解かす(②)が見られる。雪が積もらないように、縦型の信号機や上部がななめになっている看板も見られる。

(3) 火山の噴火によって火山灰や溶岩がふき出したあとに見られるくぼんだ地形を何というか、書きなさい。

(4) 自然災害と防災への取り組みについて、次の①、②に答えなさい。

① 自然災害が発生した場合、国や自治体などの協力の下で被災者を保護するために定められた法律として適切なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

ア 災害保護法 イ 災害援助法 ウ 災害救助法 エ 災害支援法

② 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図のことを何というか、書きなさい。

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

3 次の(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 扇状地と三角州とはどのような地形か、それぞれ「川」という語句を用いて説明しなさい。
- (2) 次の地形とその説明の組み合わせとして適切なものを、ア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 山地 — 山が列となって一続きに連なったところ
イ 山脈 — 山が集まり、一つにまとまっているところ
ウ 丘陵 — 標高が低く、起伏が小さい山が集まっているところ
エ 盆地 — 内陸にあって一段高い平坦なところ

- (3) 再生可能エネルギーについて説明した文として適切なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 風力発電とは、騒音被害を防ぐために住宅地に設置され、風の力を利用して風車を回して発電する。
イ 太陽光発電とは、建物の屋根や広い土地などに設置され、太陽光を太陽電池によって電力に変換して発電する。
ウ 地熱発電とは、燃料を燃やして得られる熱エネルギーを利用して、タービンを回して発電する。
エ バイオマス発電とは、石油を燃料にして、ガスを発生させて発電する。

- (4) 次のグラフは、日本の海上輸送貨物と航空輸送貨物の輸出と輸入を表したものである。グラフのA～Dにあてはまる語句の組み合わせとして適切なものを、下のア～カから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア A 精密機械 B 石油 C 自動車 D 医薬品
イ A 精密機械 B 石油 C 医薬品 D 自動車
ウ A 石油 B 自動車 C 精密機械 D 医薬品
エ A 石油 B 自動車 C 医薬品 D 精密機械
オ A 自動車 B 石油 C 精密機械 D 医薬品
カ A 自動車 B 石油 C 医薬品 D 精密機械

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

4 右の資料を見て、次の(1)～(4)に答えなさい。

資料

(1) 資料中のA～Bの時期に、朝鮮半島から日本列島に一族で
移り住んだ人々を何というか、漢字3字で書きなさい。

(2) 資料中のBの時期に整えられた公地・公民とはどのような
支配の仕組みか、次の語句をすべて使い、説明しなさい。

豪族 国家

(3) 資料中のCの時期の出来事としてあてはまらないものを、
次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 都と地方を結ぶ道路が整えられ、役人が行き来
するために駅が設けられた。
- イ 戸籍に登録された6歳以上のすべての人々には
口分田が与えられ、面積に応じて租を負担した。
- ウ 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地
の私有が認められた。
- エ 坂上田村麻呂が胆沢地方を平定し、大きな胆沢
城を造った。

(4) 資料中のDの時期に、藤原氏による摂関政治が行われた。摂関政治について、次の語句をすべて使い、説明しなさい。

娘 子

③ 中 学 校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

5 次の (1) ~ (4) に答えなさい。

資料 1

- (1) 資料 1 の鎌倉時代に、御成敗式目を定めた人物名を書きなさい。
- (2) 資料 1 中のどの時代にもあてはまらないものを次のア～カから 2 つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 浄土真宗の信仰で結び付いた武士や農民たちが各地で一向一揆を起こした
イ 女性の小袖にはさまざまな模様が考えられ、今日の和服の原型になった
ウ 平将門や藤原純友が、周辺の武士団を率いて大きな反乱を起こした
エ 銅貨として寛永通宝が全国に流通したため中国銭は使われなくなった
オ 日本人が東南アジアに移住し、各地に日本町（日本人町）ができた
カ 東北地方の武士同士の争いを契機に前九年合戦・後三年合戦が起こった

資料 2

- (3) 右の資料 2 は、応仁の乱の様子を描いたものである。応仁の乱以後、守護大名はどのように変化したか、次の語句をすべて使い、「守護大名は、」に続けて 50 字以上 70 字以内で説明しなさい。

下剋上 戦国大名

- (4) 次のア～エは、古代から近世にかけての政治の仕組みを表している。これを年代の古い順に並べ替えなさい。

Blank area for answer (4)

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

6 次の資料 1～資料 4 を見て、下の (1)～(4) に答えなさい。

資料 1

資料 2

資料 3

資料 4

(1) 資料 1 は、国際連盟の創設を唱えた人物である。国際連盟について述べた次の文の①、②に適する語句をそれぞれ書きなさい。

アメリカ大統領の提案を基にして、(①) と国際協調を目的とする国際連盟が発足した。本部はスイスのジュネーブに置かれ、イギリス、フランス、(②)、日本が常任理事国になった。

(2) 資料 2 は、世界恐慌が始まったニューヨークの様子を表している。世界恐慌に対して、アメリカとイギリスが行った政策名とその内容についてそれぞれ書きなさい。ただし、内容は 30 字以上 50 字以内で書くこと。

(3) 資料 3 は、日本が国際連盟を脱退したことを伝える記事の一部である。次の①～④にあてはまる出来事を、下のア～エから 1 つずつ選び、起きた順に並べ替え、その記号を書きなさい。

① → ② → 国際連盟脱退 → ③ → ④

ア 日中戦争 イ 満州事変 ウ 柳条湖事件 エ 盧溝橋事件

(4) 資料 4 は、友好の記念として贈られたパンダを見学する人々を表している。資料 4 と関連の深い出来事を次のア～エから 1 つ選び、その記号を書きなさい。

ア 日中平和友好条約 イ 日ソ共同宣言 ウ 日中共同声明 エ 日米安全保障条約

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

7 次の資料を見て、下の (1) ~ (5) に答えなさい。

資料

- (1) 資料のような三権分立を唱えたフランスの思想家は誰か、書きなさい。
- (2) Aについて、現在の日本の選挙の方法について定められている法律は何か、書きなさい。
- (3) Bについて、二院制が採られている理由を、解答欄の「参議院が置かれているのは、」の書き出しに続けて、次の語句をすべて使い、書きなさい。

国民の意見 衆議院

- (4) Cについて、司法制度改革の一環として、2009年(平成21年)から始まった、国民が刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に被告人の有罪・無罪や刑罰の内容を決める制度は何か、書きなさい。
- (5) 日本では立法と行政の関係について議院内閣制を採っている。このことについて、次の①、②に答えなさい。
 - ① 議院内閣制について述べた次の文の a, b に適する語句を書きなさい。

内閣は、国権の最高機関である国会の (a) に基づいて成立し、国会に対して (b) 責任を負う。

- ② 次の文は、内閣不信任決議が可決した後の動きについて述べたものである。c ~ e に適する数字の組合せとして正しいものを、下のア ~ クから1つ選び、その記号を書きなさい。

内閣は、(c) 日以内に衆議院を解散するか、総辞職しなければならない。衆議院が解散されたときは、解散の日から (d) 日以内に衆議院議員の総選挙を行い、その選挙の日から (e) 日以内に、国会を召集しなければならない。

ア	c	30	d	10	e	40	イ	c	30	d	40	e	20
ウ	c	40	d	20	e	30	エ	c	40	d	20	e	10
オ	c	20	d	10	e	40	カ	c	10	d	40	e	30
キ	c	10	d	30	e	20	ク	c	20	d	30	e	10

③ 中 学 校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

8 次の文を読み、下の (1) ~ (5) に答えなさい。

- (1) 下線部 A について、政府が歳入や歳出を通じて景気を安定させようとする何を何というか、書きなさい。
- (2) 下線部 B について、1973 年の石油危機の原因となった出来事を、次のア～エから 1 つ選び、その記号を書きなさい。

ア 朝鮮戦争 イ ベトナム戦争 ウ 第四次中東戦争 エ イラク戦争

- (3) 下線部 C について、株式会社で発行された株式が売買されているところはどこか、書きなさい。
- (4) 下線部 D について、次の に適する語句を書きなさい。

今日の日本では、労働時間を減らし、育児休業や介護休業などを充実させることで、仕事と家庭生活や地域生活とを両立できる を実現することが課題になっている。

- (5) 下線部 E について、商品の価格は需要量と供給量との関係で変化する。
右の資料の需要曲線と供給曲線の交点を P としたとき、交点 P は需要と供給のバランスがとれた状態である。このときの価格を何というか、書きなさい。

資料

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

9 新中学校学習指導要領(平成 29 年告示)「社会」について、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 次の文は、「各分野の目標及び内容」の「地理的分野」の「内容」の一部である。a～cにあてはまる語句を書きなさい。

C 日本の様々な地域

(中略)

(3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① (a) を中核とした考察の仕方
- ② (b) や都市・村落を中核とした考察の仕方
- ③ 産業を中核とした考察の仕方
- ④ (c) や通信を中核とした考察の仕方
- ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) ①から⑤までの考察の仕方で行き上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

(2) 次の文は、「各分野の目標及び内容」の「歴史的分野」の「目標」の一部である。①～③にあてはまる語句を書きなさい。

(1) 我が国の歴史の大きな (①) を、世界の歴史を背景に、各時代の (②) を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の (②) などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる (③) を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

③ 中学校 社 会

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- (3) 次の文は、「各分野の目標及び内容」の「公民的分野」の「内容の取扱い」の一部である。①～④にあてはまる語句を、下の a～l から 1 つずつ選び、その記号を書きなさい。

(1) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

- ア 地理的分野及び歴史的分野の学習の成果を (①) するとともに、これらの分野で育成された資質・能力が、更に高まり発展するようにすること。また、社会的事象は相互に関連し合っていることに留意し、特定の (②) に偏ることなく、分野全体として見通しをもったまとまりのある学習が展開できるようにすること。
- イ 生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮し、(③) の見方・考え方を働かせ、日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して、政治や経済などに関わる制度や仕組みの意義や働きについて理解を深め、多面的・多角的に考察、(④) し、表現できるようにすること。

- | | | | | | |
|------|------|------|------|--------|------|
| a 趣旨 | b 内容 | c 確認 | d 活用 | e 現代社会 | f 判断 |
| g 社会 | h 構想 | i 作成 | j 教科 | k 公民分野 | l 議論 |